

5. 予算および主要事業

水産試験場

| 事業名 | 平成28年度予算(当初) | |
|----------------------|--------------|----|
| 水産試験場運営費 | 34,231 | 千円 |
| 試験研究調査費 | 28,903 | 千円 |
| (養殖場防疫・疾病対策事業) | (6,660) | |
| (琵琶湖生態系修復総合対策研究) | (3,925) | |
| (アユ資源・漁獲動向情報発信高度化研究) | (4,855) | |
| (魚類等増殖環境評価調査研究) | (1,006) | |
| (セタシジミ資源の回復・向上試験事業) | (2,900) | |
| (外来魚駆除対策研究) | (3,651) | |
| (増養殖技術研究) | (304) | |
| (漁況予報調査研究) | (1,824) | |
| (漁場環境調査研究) | (711) | |
| 養鱒事業費 | 21,000 | 千円 |
| 調査指導費 | 1,214 | 千円 |
| 職員費 | 240,062 | 千円 |
| 計 | 325,410 | 千円 |

水産課計上分

| 事業名 | 平成28年度予算(当初) | |
|-------------------------|--------------|----|
| 水産基盤整備事業費 | 5,062 | 千円 |
| (ヨシ帯造成・砂地造成事務費) | (2,062) | |
| (セタシジミ種苗放流事業) | (3,000) | |
| 資源管理型漁業推進総合対策事業費 | 2,125 | 千円 |
| (資源管推進調査業務) | (2,125) | |
| 水産有害生物対策事業費 | 1,765 | 千円 |
| (外来魚産卵期集中捕獲事業) | (1,756) | |
| ホンモロコ資源緊急回復対策事業 | 840 | 千円 |
| 琵琶湖漁業再生ステップアッププロジェクト事業費 | 4,060 | 千円 |
| (効果調査) | (4,060) | |
| 計 | 13,852 | 千円 |

平成28年度主要事業一覧

| 事業名 | 事業概要 |
|-----------------------------|---|
| 琵琶湖生態系修復総合対策研究 | 生物多様性に配慮しつつ、生態系の総合的修復技術を開発する。 ○生物多様性モニタリング 沖合底魚資源の評価、ビワマス資源への引縄釣りの影響評価 ○沿岸帯の魚貝類生産機能修復再生研究 ホンモロコ繁殖要因の解明研究 スジエビ資源の漁況予測技術開発研究 淡水真珠生産機能回復研究 セタシジミ親貝放流技術開発研究 ○温水性魚類の効率的再生産助長技術開発 ○琵琶湖の水産生物生産力評価に関する研究 |
| 魚類等増殖環境評価調査研究 | 過去に実施された漁場環境改善に係る事業効果調査と内湖や湖辺残存水面の魚類増殖場としての評価を行い、課題や改善点を整理する。 ○南湖底泥の富栄養化等調査研究 ○魚類増殖場としての湖辺残存水面等評価調査 |
| 外来魚駆除対策研究 | オオクチバスのリバウンド現象の解明と駆除技術の開発。コクチバスやチャンネルキャットフィッシュの現状把握・駆除技術の開発。 ○オオクチバス抑制管理技術開発研究 ○新たな外来魚の拡散防止および効率的駆除技術開発研究 ○外来魚駆除効果の評価 |
| ホンモロコ資源緊急回復対策事業* | 著しく減少したホンモロコ資源を回復させるためのふ化仔魚水田放流種苗用の天然親魚を生産し、種苗放流の効果を調査する。 |
| 琵琶湖漁業再生ステップアッププロジェクト(効果調査)* | 赤野井湾を含む南湖水域で行われる水草除去や外来魚駆除、種苗放流による水産資源の回復、漁場の再生事業の効果を把握する。 ○南湖におけるホンモロコ回復状況の確認 ○赤野井湾での漁獲と再生産状況把握による有効性評価 ○赤野井湾の環境モニタリングと真珠母貝の成長調査 |
| 外来魚産卵期集中捕獲事業* | 南湖および西の湖における産卵期を中心とした集中的な外来魚の捕獲による事業効果を把握する。 |
| 養殖場防疫・疾病対策事業 | アユの養殖や河川放流で問題となっている疾病対策研究およびこれらの感染症の保菌検査を行う。 ○冷水病抗病性付与および除菌技術普及研究 ○冷水病ワクチンの実用化研究 ○河川放流用アユ種苗の出荷前保菌検査 |
| アユ資源・漁獲情報発信高度化研究 | アユの初期加入状況が漁獲に及ぼす影響解明と科学計量魚探による資源尾数推定等、各種指標に基づく資源漁獲動向予測。 ○漁獲による資源消費過程の解明と減耗要因の分析 ○科学計量魚探を用いた資源・漁獲動向予測 ○ふ化日組成把握の精度向上 |
| セタシジミ資源の回復・向上試験事業 | 北湖の漁場に設置や撤去が容易なポール等の構造物を設置し、湖底の流れに変化を生じさせ、シジミ稚貝の生残・成長に有効な環境が作り出す技術を開発する。 ○漁場における構造物設置効果把握試験 ○最適な構造物設置条件の把握 |
| 漁況予報調査研究 | 琵琶湖のアユの資源状況の把握とその情報提供を行う。 |
| 漁場環境調査 | 琵琶湖の漁場環境を把握するための定点定期調査を実施する。 |
| 特産マス類資源の保全と活用に関する調査研究 | 在来マス類(イワナ・アマゴ)資源の増殖・種苗化および地域特産種としての高成長系ビワマスの養殖業への普及を行うための研究。 |

*：本課予算